

水戸学逍遙

〈水戸史学叢書〉

但野 正弘著

意外と知られていない 水戸の歴史に触れる

吉田松陰と橋本景岳といった幕末の先哲や明治の偉人・渋沢栄一と水戸の関わり、水戸藩における震災・津波の歴史ドラマ・映画で描かれる水戸藩と史実との乖離……様々な視点から水戸学・水戸史学の歴史を紐解く！



定価：本体2,300円(税別)

企画：水戸史学会／発行：錦正社

平成26年1月発行／B6判・上製・カバー装・208頁

ISBN978-4-7646-0298-4

著者略歴

但野 正弘 (ただの まさひろ)

昭和 38 年 3 月 茨城大学 文理学部文学科史学専攻 卒業

昭和 38 年 4 月～浜松日体高・茨城県立岩瀬高・水戸一高・茨城東高教諭

平成 13 年 4 月～21 年 3 月 植草学園短期大学(福祉学科)教授

平成 22 年 4 月～リリー保育福祉専門学校講師(非常勤)

平成 24 年 4 月 植草学園短期大学名誉教授

*水戸史学会理事・事務局長

*幕末維新水戸有志を偲ぶ会 副会長

*日本学協会理事

目次

まえがき

第一章 水戸光圀における「源義経」論
—— 鶴越の坂落しと弓流しの逸話から ——

第二章 日本史上に鑑みる大震災
—— 特に東北地方と常陸国を中心として ——

第三章 信州の栗田神社と水戸の栗田八郎兵衛
—— 震災を通じて蘇るそのルーツと絆 ——

第四章 藤田東湖の震死直後に臨場した加藤木賞三(峻叟)の救命活動

第五章 『烈公壁書』と「鈴木主税墓碑」
—— 吉田松陰・橋本景岳と水戸との絆 ——

第六章 「安政の大獄」と水戸藩

第七章 若き日の渋沢栄一
—— 生い立ちから一橋家仕官・渡仏まで ——

第八章 青淵渋沢栄一の気骨
あとがき

(ご注文・お問い合わせ)

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <http://kinseisha.jp/>

電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

書店様番線

注文数

水戸学逍遙

但野 正弘著

冊

本体 2,300 円(税別) (ISBN978-4-7646-0298-4)

お名前

〒
ご住所

お電話